

町民憲章(素案)の考え方

和水町町民憲章(素案)への意見募集については、貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。
ご意見に対しての、和水町町民憲章等制定委員会で検討しました結果(考え方)を示します。

※町民憲章(素案)は、紙面の都合上、広報なごみ7月号をご覧ください。

ご質問=Q 考え方(回答)=Aとします。

Q 町民憲章です。前文、本文とも「まち」は「町」とすべきでは。
本文3番目の条文の「たくましく」は、「たくましい」とする方がすっきりするのではないか。

A まちづくりという言葉は、住民の活性化などソフト面を中心に語られることが多く、地域再生という意味合いで使われることが多いようです。また、街づくり、町づくりなどとも表記されますが、ひらがな表記が多く使われる傾向にあります。全国の町民憲章の「まち」、「町」の使い方は、それぞれの町によって異なっています。本町では、検討の結果、総合的な意味合いを含め、ひらがなを使用することにします。
「たくまいく(い)」の使い方については、どのようなまちにするのか二つの事をつないでおり、強いイメージもあり原文のとおりとします。(間に「そして」を入れて読んでみては。)

Q この町に住んでいる(和水町に生まれた)ことの誇りとあるので、実際に「誇り」を使っては。

A 全体の構成を考える上で、「前文、本文で同じ言葉は極力使用しない。」、「特に本文内での同一言葉は使用しない(末尾等除く。)」ことに配慮しています。前文の解説に示しているとおりであり、本文三つ目の条文に「誇り」という言葉を使用しているところです。

Q 「あした」は、漢字を使用してもよいのでは。

A 漢字で表記した場合、明日は、「あした、あす、みょうにち」の読みがあり、読み方を明確にするため、あえてひらがなを使用しています。

Q 「わたしたちは、美しい自然と壮大な歴史を大切にし、希望があふれる未来を創造しながら、互いに和みあうまちとなることを願い、この憲章を定めます。」という前文を提案します。

A ご意見の文言もありますが、表現(言葉の選択)方法・主観性(個々の思い)などもあり、検討しました結果、原文のとおりとします。

Q 本文の文頭の表記は、「1」ではなく「一」が良いと思います。

A 本文は目で読むものではなく声を出して唱えるものであり、5ヶ条それぞれ「一(ひとつ)…。一(ひとつ)…。…」と唱えるようにしています。
なお、憲章の表示の仕方では表記方法を変えるようにしています。(横書の場合「1」、縦書の場合「一」)

Q 町民憲章は、町民一人ひとりの約束ごとであり、合い言葉でもあるから、常に町民意識を喚起・高揚させる意味から本文5ヶ条の文頭に「私たちは」を挿入・強調させ、最後の「まちをつくります」は平凡すぎるので、あえて「和水町をつくります」と明確に示した方が、愛着も生まれ、誇りにも繋がるのでは。

A ご意見の趣旨も分かりますが、最初の表題部に「和水町町民憲章」と表示、前文の冒頭に「私たちは」を使用しており、本文の長さや唱える場合のテンポなど検討した結果、原文のとおりとします。

Q 「夢と希望を持って」目指すものは「町民が互いに和み合うこと」でよいのでしょうか？憲章の目的(願い)は、町の発展と町民の幸せだと思いますので、以下の提案をします。
「わたしたちは、豊かな自然と先人達が築いてきた歴史をこれからも受け継いでいきます。そして、誇りを持って、夢と希望の実現を目指す郷土の発展と人々の幸せを願い、この憲章を定めます」

A 前文の解説に示しています、「町の更なる発展と現在生活を営んでいる人々、将来生活を営む人々の幸せを願って」は町の発展・町民の幸せであり、結果和むという意味合いも含めています。また、下線部分は本文に使用しており、上記の全体構成への配慮もあり、原文のとおりとします。

Q 本文は、3条文ほどで良いのではないのでしょうか。①(自然)、③(健康)、④(文化)の組み合わせで、順番を①、④、③にするとか。

A まちづくり総合計画(基本構想など)は行政(自治体)の発信、町民憲章は町民の発信であり、総合的な発信の意味合いもあり、原文のとおり本文5ヶ条とします。

Q ②の「ふれあいを大切に」は「人とのふれあい(つまり互いに尊重しあう)」を言いたいのでしょうかから、「人とのふれあいを大切に、笑顔と挨拶で、心豊かなまちをつくります」が良いと思うが。
⑤の説明文の前半は、人権尊重のことと思われ、その件は②に包含されるのでは。協働のまちづくりに主眼をおくなら「互いに協力しあう」、「協働のところで」などという文言を使用してはどうか。

A ご指摘のとおり、説明文は②に包含される部分があります。⑤では①～④を踏まえて総合的な協働のまちづくりを表現したかったところであり、説明表現に紛らわしい部分があり、また、協働という言葉は分かりづらい面もありますので、検討しました結果、説明文を修正し、原文のとおりとします。

他に賛同意見が数件ありました。(ご意見総数24件(11人))

なお、10月号に和水町町民憲章(決定)、町の花・木・鳥(決定)を掲載予定です。

姉妹都市・韓国公州市から訪問

8月1日(月)から3日間、韓国公州市から市長をはじめとする訪問団8人が来町されました。公州市とは昭和54年以来、江田船山古墳が取り持つ縁で姉妹都市の締結をして、親しく交流を続けています。

この来町の間は、江田船山古墳、熊本城などの歴史遺産や古墳祭を見学されました。また、歓迎式典においては、記念品の交換やなごみひょっとこ笑福隊によるひょっとこ踊りなどを通じて和やかに交流を深めることができました。



なごみひょっとこ笑福隊と記念写真

第40回夏祭り盆踊り大会

8月13日(土)、和水町多目的広場で第40回夏祭り盆踊り大会が開催されました。司会には、大学生ながらRKKラジオパーソナリティーとしても活躍している和水町上十町出身の山下毬絵さん。観客の心を引き込む巧みなMCぶりで、例年以上に華やかな雰囲気となりました。

大会のメインである盆踊り総踊りでは、広場の中心に建てられた櫓を取り囲むように、子どもから大人まで多くの人が輪をつくり、参加者全てが一体となり踊りを楽しみました。

最後は、会場のすぐそばから打ち上げられる大迫力の花火が、観客の目を釘付けにしていました。



櫓で楽しく盆踊り

第9回和水川舟ペーロン大会

7月31日(日)、和水町白石堰上流の菊池川流域で第9回和水川舟ペーロン大会が開催されました。

今年は家族や友達、職場や分館の仲間で作った40チーム、495人が参加し、5部門に分かれてレースを行いました。

当日は好天に恵まれ、各チーム優勝を目指してチーム一丸となって水上を駆ける姿には、真剣な表情と迫力があり、歓声の飛び交う熱戦が繰り広げられました。

結果については、次のとおりです。

優勝

小学生の部	西っ子レンジャーズ(菊水西小)	中高生の部	KEN坊主with女神様どーぞっ(菊水中3年2組)
女性の部	ケアーエンジェルズ	分館の部	馬場分館
		一般の部	ゴイゴイズ



西っ子レンジャーズ4連覇